

教育委員会（４月）会議録						
招集年月日	令和４年４月２６日（火）					
招集の場所	白馬村役場 ２階 庁議室					
開閉会の日時及び宣言	開会	令和４年４月２６日（火） 午後２時００分				
	閉会	令和４年４月２６日（火） 午後３時３６分				
出席委員	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
	教育長	平林 豊	委員	西澤みどり	委員	松沢 亨
	教育長職務代理者	幅下 守	委員	田口 令子		
事務局	教育課長	横川 辰彦	子育て支援課長	下川 浩毅	生涯学習スポーツ課長	松澤宏和
	公民館長	横川 秀明	子育て支援課長補佐兼母子健康係長	内山 明子	教育係長	中村由加

### 会議の要旨

#### 1 開会

[教育長]

開会を宣言した。

#### 2 令和４年３月定例会会議録について

異議なく承認された。

#### 3 報告

##### ○教育長報告

新型コロナウイルス感染症の関係で、しろま保育園では、６日・７日に年中クラスから陽性者が確認され、１０日までクラス閉鎖となった。その後、再び陽性者が確認されたことから、１２日まで延長になっている。８日に未満児クラスから陽性者が確認され、１２日までクラス閉鎖となった。その後、再び陽性者が確認されたことから、１３日まで延長になっている。９日に年長クラス及び未満児クラスから陽性者が確認され、１３日までクラス閉鎖となった。職員については、１１日に保育士２名、１２日に保育士１名、１３日に保育士１名の陽性が確認され、体調の悪い職員も数名出たため、１９日まで休園となった。

白馬北小では、１０日に２学年と特別支援学級から陽性者が確認され、１３日まで学級閉鎖としたが、１１日に複数の児童から発熱等の連絡があったことから、１３日まで臨時休業とした。その後、感染状況を総合的に判断した結果、１５日まで延長することとした。白馬南小では、１４日に１年生から陽性者が確認され、１８日まで学級閉鎖とした。

４日にしろま保育園の入園式、６日に村内小中学校の入学式、７日に白馬高校の入学式が行われた。白馬高校の新入生は、普通科２６名、国際観光科１８名 計４４名で、県外入学者は５名と聞いている。

１１日に、ウイング２１芸術文化シリーズ実行委員会総会を開催した。今年度は、６月に「京都茂山狂言」、８月に「NAGANO 国際音楽祭」、９月に碓井氏の「ピアリサイタル」、１２月に「はつゆきコンサート」を予定している。

１４日に、白馬村スポーツ協会総会が開催された。

同日白馬南小６年生が「わが家のセーフティリーダー」として委嘱された。

１５日に、白馬高校を育てる懇話会が開催された。令和４年度の全校生徒数は１４７名で、来年度６９名以上の新入生がなく、白馬・小谷中学の卒業生が半分以上白馬高校へ入学しなければ再編対象となり、①他校との統合、②地域キャンパス化、③「中山間地存立特定校」の指定、④募集停止のいずれかの方策をとることになる。今年度白馬中からの入学者は１８名、進学率は２７．７％であり、来年度５０％以上にするのは、非常に難しいと思う。白馬小谷地域では、再編の基準をそのまま適用するのではなく、最終的には「中山間地存立特定校」として存続できるようお願いをしているところである。

１８日に、市町村教育委員会連絡会が開催された。新規事業としては、「県独自の「ICTを活用した児童生徒の学習状況フィードバックシステム」を活用し、個々の生徒の学習状況を即時フィードバックするとともに補充問題を提供することを通して、自らの学習を調整して自律的に学ぶ生徒を育成する。」ことを目的に、１０月上旬

全県の中学 2 年生を対象に、システム活用調査を行う予定とのことである。また、市町村と協働で住民ニーズに対応する電子書籍の貸出と閲覧サービスを実施するとのことである。

19 日に、白馬村議会臨時会が開催され、令和 4 年度一般会計補正予算第 1 号が可決されている。

#### ○教育課長報告

4 月 6 日に村内学校の入学式が行われた。当初は教育委員の参列も計画したが、感染警戒レベルが上がったことに伴い、村長のみ参列となった。各校ともに会場への入場者数の制限、時間の短縮、換気を行ない、校歌も CD を流すのみなど感染症対策に工夫を凝らして実施されている。

新年度が始まり、各種委員会も動き始めているが、小学校では新型コロナウイルス感染症の影響で学校運営協議会や PTA 総会などは延期や書面等に変更されている。

新型コロナウイルス感染症について、3 月末から 4 月 7 日にかけて 2 件ほどの感染者が出ていたが、保育園での感染拡大に合わせるように 4 月 11 日から急激に北小学校で感染者が増えた。北小では学級閉鎖から最終的には臨時休業となっている。

4 月の感染者は 28 人で内訳は南小 1 人、北小 20 人、中学 7 人で、このうち、4 月 10 日以降の感染は 25 人である。また、教員は 8 人が感染し、全て北小の教員である。スキーシーズンは 20 代、30 代の若者が多く、児童生徒への感染は少ない傾向であったが、今回の流行は児童生徒を中心とした拡大で、感染スピードが非常に速いのが特徴と感じている。

北小の感染拡大に対して、大町保健所から助言をいただき、特別支援学級の PCR 検査、職員の抗原検査を行った。ともに 1 名ずつの陽性者が特定されている。

なお、現在感染は落ち着きを見せており、ほとんどの感染者は療養期間を終えて登校を再開している。各学校において新型コロナウイルス感染に不安があるため欠席している児童生徒は 1～2 名であると報告を受けている。

#### ○子育て支援課長報告

保育園では、4 月 4 日の入園式は無事に終了したが、その後、新型コロナウイルスが蔓延し、学級閉鎖及び臨時休園となった。

子育て支援ルーム関係では、新型コロナウイルスの蔓延により今年 1 月の後半から、支援ルームの利用(自由利用、休日保育)を制限していたが、大北管内のレベルが下がったことにより、本日から利用制限を解除した。

令和 3 年度の給付金について、低所得の子育て世帯への給付金は、対象児童 192 人、960 万円。子育て世帯臨時給付金は、対象児童 1,117 人、1 億 1,170 万円の給付があった。

#### ○生涯学習スポーツ課長報告

3 月 30 日に第 25 回スノーハーブクロスカントリー大会の常任理事会を開催した。2 年ぶりの大会開催となるが、コロナウイルス感染対策として、受付時間の延長、選手のナンバーカード郵送等を行い、人との接触機会を出来るだけ減らす対策を講じていくこととなった。

3 月 31 日には、図書館等複合施設検討会議を開催した。第 1 回の開催となるが、年度末までに基本計画の見直しを行っていく。

#### ○公民館長報告

4 月 19 日に分館長会議を開催し、今年度の公民館事業計画について承認していただいた。

4 月 20 日に子ども会育成会総会を開催し、子ども会事業計画について承認していただいた。

4 月 27 日公民館運営審議会を開催し、社会事業計画について承認していただいた。

#### 4 議事

##### ○報告第 6 号 しろま保育園の臨時休園について

[子育て支援課長]

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、しろま保育園を休園とした。4 月 7 日から 16 日の間に一部臨時休園が 6 クラス、その後、全体の臨時休園を 4 月 15 日から 19 日まで実施した。この期間に園児 22 名、職員 6 名が陽性となった。最初の頃は園児が陽性になり、保健所の助言の基、学級閉鎖で対応していたが、最終的には職員にも陽性者や体調不良者が出たため、保育の体制が整わず一斉臨時休園となった。職員は 4 月 16 日に PCR 検査を行ない、その結果 1 名の陽性者が判明した。

##### ○報告第 7 号 白馬村スポーツ功労賞規則の一部改正について

[生涯学習スポーツ課長]

5 月 14 日に開催予定の北京オリンピック報告セレモニーで表彰を行なうが、「白馬村スポーツ特別功労賞」について、今回新たに規定し追加する。表彰の対象となる「スポーツ功労賞」は、ワールドカップ等において特に優れた成績を収めた者であるのに対し、「スポーツ特別功労賞」は、オリンピックや世界選手権において特に優れた成績を収めた者とする。

[委員]

この週末に千葉県で行なわれた世界大会の「X Games」で、永原悠路君がスケート・ボードパークで 4 位に入賞しているが、表彰の対象になるか。

[生涯学習スポーツ課長]

功労賞関係の表彰は 1 位から 3 位までが対象なので該当しない。世界大会は 3 位までが表彰対象となる。

##### ○報告第 8 号 令和 4 年度白馬村一般会計補正予算(第 1 号)(教育関係)について

[生涯学習スポーツ課長]

スポーツ特別功労賞に渡部暁斗氏で 100 万円、村民荣誉賞に渡部善斗氏で 100 万円を支出する。また、北京オリンピック報告セレモニー開催委託料として 249 万 8 千円を計上し、スキークラブへ委託する。財源は、全額ふるさと白馬を応援する基金を繰り入れる。

[子育て支援課長]

「児童手当等給付事業」の新型コロナウイルス感染症対策補助金は、保育所等において感染防止対策に必要な衛生用品の購入を補助するもので、認可外保育の「マイマイ」、「ひな」、「スマイル」、家庭的保育の「Familia Hakuba」の村内 4 施設が対象となる。また、「しろま保育園運営事業」において、しろま保育園の新型コロナウイルス感染症対策補助金 50 万円を計上している。財源は、国からの補助金が 1/2、地方創生臨時交付金が 1/2 となっている。「子育て世帯臨時特別給付金事業」の給付金 300 万円は、1 人あたり 10 万円の先行給付や追加給付について、4 月 1 日以降の支出分を計上している。3 月末に誕生した新生児支給分や 9 月以降に離婚して支給されていない者が対象となっている。全額が国からの補助金。「学生等応援給付金事業」は、大学等に進学した子どもたちが新型コロナウイルスの影響により、親の仕送りの減少やアルバイト活動の制限を受けている状況を改善させるため、給付金を支給するもの。白馬村に住民登録がある世帯で、親元から離れて一人暮らししている子ども 1 人に対して、一律 5 万円の給付を行なう。昨年度の 10 万円給付を受給していない大学生等が支給対象となる。財源は、全額が地方創生臨時交付金。

[教育課長]

南小学校の漏水事故による職員室の床修繕工事費として、103 万 4 千円を計上している。財源は、工事費の 90%まで起債が充当できるということで、村債 90 万円。学校施設の長寿命化計画に沿って行なう事業に対して使える起債で、充当率が高いということと、元利償還金に対して交付税措置があることから、財政的に有利ということで今年度の補正で実施する。

○承認第 9 号 白馬村いじめ問題対策連絡協議会設置要綱の廃止について

○承認第 10 号 白馬村いじめ問題調査委員会設置要綱の廃止について

[教育長]

承認第 9 号と承認第 10 号の要綱廃止については、関連があるので一括して議題とする。

[教育課長]

前回の委員会で、このいじめ問題に係る組織立て等については、条例化及び規則の制定をお認めいただいた。議会で可決され 4 月 1 日から施行となったことから、この 2 つの要綱は不用になったので廃止する。条例・規則の施行に合わせてこの廃止要綱は 4 月 1 日から適用する。

・全員賛成で承認された。

○承認第 11 号 白馬村立小学校の臨時休業について

[教育課長]

白馬北小学校の 2 学年の 1 学級と特別支援学級の 1 学級を 4 月 11 日から 13 日の間、学級閉鎖にした。それぞれの学級で陽性者が出たことから、土日も含めて 5 日間の健康観察期間を設けられるよう月曜日から水曜日までを学級閉鎖としている。しかしながら、4 月 11 日の月曜日朝に、発熱等で休む児童・教師が 10 名程出たことから 11 日は 1 時間だけ学活をして全校の児童を下校させた。感染が広がっている恐れがあるとし、翌 4 月 12 日から 13 日の間を一斉臨時休業としたが、一斉臨時休業の間にも陽性者が複数名出たことから、一斉臨時休業を 4 月 15 日まで延長している。南小学校は、1 学年の児童 1 名が陽性になったことから、4 月 15 日から 18 日の間、学級閉鎖している。

・全員賛成で承認された。

○承認第 12 号 白馬村立小・中学校の学校運営協議会委員の任命について

[教育課長]

校長から推薦があった者について、1 年の任期ということでお認めいただきたい。任期は令和 4 年 4 月 15 日から令和 5 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で承認された。

○承認第 13 号 白馬村小中学校給食献立委員会委員の委嘱等について

[教育課長]

学校関係では教頭先生と給食担当職員、PTA 代表で構成されるが、北小学校はコロナの影響で PTA の会議が延期になり代表者が決まっていないことから今回の名簿に名前が挙がっていない。北小の PTA 代表については次回の委員会で挙げさせていただく。任期は令和 4 年 4 月 21 日から令和 5 年 3 月 31 日まで。

・全員賛成で承認された。

○承認第 14 号 令和 4 年度会計年度任用職員の任用及び退職について

[教育課長] [子育て支援課長]

・延長保育補助員、保育士、学校講師の異動について説明する。

・全員賛成で承認された。

○議案第 16 号 白馬村就学支援委員会委員の委嘱等について

[子育て支援課長]

任期は令和 4 年 4 月 26 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 2 年間。基本は人事異動に伴う委員の入れ替えとなっているが、「教育委員会が必要と認める者」ということで、教育課長を委員に加えている。また、事務局に子育て支援課専門員の吉澤が入り、保育園職員として吉澤の代わりに園長が入っている。

・全員賛成で可決された。

○議案第 17 号 白馬村公民館運営審議会委員の委嘱について

[公民館長]

明日、開催予定である公民館運営審議会の委員の委嘱で、2 年任期であるところ、分館長会長とシニアクラブ会長が替わるということで新たに委嘱するもの。

・全員賛成で可決された。

○議案第 18 号 白馬村学校給食センター運営委員会委員の委嘱等について

[教育課長]

白馬村学校給食センター運営委員は 2 年任期であるところ、小中学校の PTA 会長と給食センターの所長が替わったので新たに委嘱するもの。

・全員賛成で可決された。

○議案第 15 号 通級指導教室への通級許可について

[子育て支援課長]

・通級指導教室への通級の要望があった 3 名について、説明し許可を求めた。3 名とも 5 月から通級指導を希望している。

・全員賛成で可決された。

○議案第 20 号 白馬村学生等応援給付金給付要綱に対する意見について

[子育て支援課長]

事業概要は、親元を離れ大学等について給付金を給付して、学生の生活を支援していきたいというもの。昨年度に子育て世帯臨時特例給付金として 10 万円の給付金があったが、そのときに支給対象外であった学生について今回は対象とする。支給対象者は、平成 12 年 4 月 2 日から平成 16 年 4 月 1 日生まれの学生等で予備校生も含む。支給額は 1 人につき 5 万円。申請期限は令和 4 年 10 月 31 日まで。支給の条件は、父母等の住所が白馬村に住所登録されており、白馬村以外で父母等と離れて暮らしている学生であること等となっている。支給対象は大学 4 年生までで、大学院生や対象年齢外の留年者は対象外となる。親の所得制限は設けていない。

[委員]

この給付金は、いわゆるプッシュ型というのではなく、対象者が申請しなければ給付されないものか。

[子育て支援課長]

申請により給付するもので、周知方法としては、対象年齢の子どもがいる家庭へ一斉に案内を送付する。ただし、昨年の先行給付 10 万円を支給された者へは案内は出さない。親または本人が申請できる。

[委員]

家から学校へ通っている者は対象にならないのか。

[子育て支援課長]

支給対象にならない。一人暮らしの方が生活費等がかかることから限定させてもらった。

[委員]

これは白馬村独自の施策か。

[子育て支援課長]

村独自の施策である。

[委員]

白馬村独自の施策ということだが、財源は国からの補助金を充てているのか。

[子育て支援課長]

財源は地方創生臨時交付金を充てている。新型コロナウイルス感染症対策として、自由に使える交付金である。

・全員賛成で可決された。

## 5 その他

### (1)池田町教育長及び教育委員の異動について

### (2)松川村教育長の異動について

### (3)令和4年度社会教育事業計画について

#### [公民館長]

主なものとして、8月15日にこれまでの成人式の名前が変って「二十歳の集い」、9月4日に「村民運動会」、10月22日に「青少年育成村民大会」、11月4日から6日にかけて「文化祭」を開催する。その他に公民館講座やふれあい教室、芸術文化シリーズを実施する。コロナ禍においても地域づくり、人づくりとして、生涯学習を推進していく。

### (4)図書館等複合施設基本計画の見直しの経過について

#### [生涯学習スポーツ課長]

これまでの経過については、平成31年3月に基本構想を策定、その基本構想策定を基に令和2年3月に基本計画を策定し、JR白馬駅を最優先候補地に選定している。令和3年2月にJR協議・民間企業へのサウンディング・住民の反対等を踏まえて、最終的には現在の子育て支援ルーム西側を中心に候補地を見直すことになった。基本計画の見直しについて協議する「図書館等複合施設検討委員会」を令和4年3月に開催している。

### (5)5月の日程について

次回定例会は、5月25日(水)午前9時30分から。

### (6)その他

#### [委員]

県外から来ている白馬高生の人数は減っているようだが、そうすると寮は空きが多い状況か。

#### [教育課長]

2つある寮の1つの施設だけで賄える状況である。他にもみなし寮として生徒を受け入れている施設はある。2つの寮は購入しており、増築した部分は残価がまだある。山麓組合では、残価が終わった時点で整理や建て直しをしたいと考えている。

#### [委員]

村としては、白馬高校がどのような状況になってもらいたいと考えているか。

#### [教育課長]

県の再編基準でいくと、白馬高校は中山間地特定校になるかと思われるが、先生の数が減らされ活動が制限されてしまう。村としては、子どもの数が減っているならば、再編基準の160人という人数も見直すべきと考える。

#### [教育長]

地元の中学生在が半分以上白馬高へ入学してもらえれば良いが、難しい状況である。

#### [委員]

白馬高に給食を導入することを検討できないか。安全安心な給食は、親にとっては魅力的だと思う。

#### [教育課長]

給食センターは700人分程のキャパのところ、現在680人分の給食を作っている。そこに白馬高生の給食も加えるということであれば、かなりフル稼働しなくてはいけないという課題が生じる。

#### [委員]

それでも給食は魅力的だと思うので、白馬村独自でできないかと思う。他にも他校の特色ある授業等をオンラインで受けることができれば、魅力につながると思う。

[教育長]

今年開校する白馬インターナショナルスクールとの交流を検討している。

[委員]

9月から白馬インターナショナルスクールに入学予定の生徒で、現在白馬中に在籍している子どもはいるか。

[教育課長]

2～3人程いる。いずれも日本人。白馬中ではインターナショナルスクールとの交流を今年度の目標に掲げている。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	